



文化



風土



地域

「この子らを  
世の光に」の  
哲学が生きる  
福祉の伝統

# 滋賀の財産

昔、琵琶湖の底  
であった地理的  
条件から生まれ  
た豊富な陶土

歴史

## 滋賀ならではのアール・ブリュットの歴史



信楽焼や織物な  
ど悠久の歴史の  
中で育まれた産  
業や伝統



伝

豊かな地域資源  
とともに醸成さ  
れてきた地域の  
生活文化



# 基本方針

アール・ブリュットが  
世の光に

アール・ブリュットが  
県民の誇りとなる文化  
に

滋賀がアジアの  
アール・ブリュットの  
拠点に

# 目 標

アール・ブリュットの拠点づくり

障害者の造形活動の振興



# 課題と戦略

## 課題

- ・国内やアジア諸国で、多くのアール・ブリュット作品がその芸術性に気づかれず、評価されないまま埋もれ、廃棄されている。
- ・アール・ブリュットの芸術性の評価基準が明確に定まっていない。また評価できる人材が少ない。
- ・アール・ブリュット作品を適切に保管、收藏できる施設がない。

## 戦略

### 見つけ守る～アール・ブリュット作品の散逸を防止～

- (1) アール・ブリュットの評価の確立および作品の発掘
  - ・人材養成、調査研究
  - ・情報ネットワークの構築
- (2) アール・ブリュット作品の收藏・保管
  - ・収集、收藏のあり方や保管等の仕組みについて研究
  - ・近代美術館の将来構想を検討



# 課題と戦略

## 課題

- ・欧米では既に芸術として高い評価を得ているが、日本やアジアでは福祉の世界のこととして見られている。
- ・アール・ブリュットに対する県民の認知度が高いとは言えない。
- ・障害者福祉を取り巻く環境の変化により、障害福祉サービス事業所等における造形活動環境は厳しくなっている。
- ・障害のある人の作品について、著作権など作家個人の権利を守るための仕組みが構築されていない。

## 戦略

### 知ってもらう～アール・ブリュットの魅力を発信～

アール・ブリュットの魅力を文化芸術面から広く滋賀ブランドとして国内外に発信していく。

## 戦略

### 広げる～施設等での造形活動を支援～

地域や施設等での造形活動の促進のため、障害者によるアート公募展等を開催する。

## 戦略

### 安定させる～安心して造形活動ができる環境を整備～

障害のある人が安心して造形活動に取り組める仕組みの構築など環境の整備を進める。